



特集
山里交流館『やまさあべ』始動

書初め、気持ち新たに


1月10日、今年はじめてとなる少年少女書道教室が開校され、参加した子どもたちは「希望の船出」、「春の陽光」など新年にふさわしい文字に挑戦しました。

少年少女書道教室は40年以上にわたり続けられており、その実績が評価され、昨年、文部科学大臣賞を受賞しました。(15ページに関連記事)

平成27年

2

No.648



大江町山里交流館（旧七軒西小学校）では、教室をそのまま研修室として利用できます。木で囲まれた温かみのある教室は、訪れた人を懐かしい気持ちにさせてくれます。

特集

～「学び」と「交流」の場に～ 山里交流館『やまさあーべ』始動

平成13年3月に124年の歴史に幕をおろした旧七軒西小学校。学校として使われなくなったとはいえ、校舎自体は平成7年に建てられた建物であり、体育館や音楽室などの専門の施設も整備されているため、これまでさまざまな活用方法が検討されてきました。

現在、町では旧七軒西小学校を宿泊可能な施設として改修し「大江町山里交流館」（以下山里交流館）として、新年度早々にオープンできるよう準備を進めています。今月は旧七軒西小学校がどのように生まれ変わろうとしているのか、その内容を詳しくお伝えします。

地元住民で組織する 「さわらび会」

七軒地区では、具体的な使い道を話し合っていくうちに、地域活性化のため活用していきたいという声が高まり、昨年12月には今野壽子さん（柳川平）を代表とする「さわらび会」が立ち上がりました。

「さわらび」とは芽吹いたばかりのワラビのことで、地域を活性しながら、すくすく育っていく団体になることを願い命名されました。

この会は、理事6名の他、七軒地区の区および団体から選出された評議員、事務局で

組織されており、体験プログラムの作成や都市部へのPRなどの業務を担当する事務局長は、地域おこし協力隊の佐々木隆馬さんが担当しています。

地元の方々は「多くの住民が七軒西小学校に思い入れを持っており、今回の改修にはみんな喜んでいきます。ぜひ山里交流館を通して地元が元気になるような活動を実施してほしいですし、私たちもできる限り応援したいと思います」と話しています。

町では、さわらび会を指定管理者に指定し、山里交流館の管理運営を委託することにしています。



▲薪ボイラー



▲正面入口

まな び 舎 に 泊 ま ろ う



また、さわらび会では、山里の自然や生活文化を気軽に感じてもらいたいという思いを込めて、山里交流館の愛称を『やまさあーべ』に命名しました。

宿泊施設とするための 改修工事

校舎をそのまま活用できることが理想ですが、活用方法によっては改修工事が必要と

なってきました。町では、山里交流館を宿泊可能な体験型施設にするため、改修工事をおこないました。

具体的な工事の内容は、宿泊定員40名の客室と浴室の配置、不燃素材を張り付けることによる既存の木質壁・天井の不燃化などです。

また、新たに浴室を設けたことにより給湯設備として薪ボイラーを新設しました。この薪ボイラーには地元西



地域おこし協力隊 佐々木隆馬さん

プロフィール

- ◎神奈川県横浜市出身
- ◎大学、大学院では動物行動生態学を学び、沖縄のヒメハブや山梨のモリアオガエルを研究
- ◎卒業後、埼玉県内の自然保護団体に勤務、自然ガイドとして活躍
- ◎地域おこし協力隊として柳川平の空き家へ家族とともに移住

自然が伝える 魅力



春先、林床一面に広がるカタクリの花。
スプリング・エフェラル(「春の妖精」)
と呼ばれるこの光景は、七軒地区が持つ
自然の豊かさを伝えてくれます。



▲5月は山菜のシーズン。七軒地区ではゼンマイ、シ
オデ、タラノメ、コシアブラなど種類も豊富です



▶黒森区で撮影されたクマタカ
(絶滅危惧種)。警戒心が強く
なかなか見れない鳥です

山杉の間伐材の利用などを想
定しており、地元の資源を地
域内で循環させることができ
き、さらに環境にも配慮した
仕組みになっています。

活用のキーワードは 「人」と「自然」

現在、さわらび会では校舎
としての機能を活用し、各団
体の合宿やサークル活動、研
修などを受け入れるとともに
「人」と「自然」の2つをキ
ーワードに、七軒地区ならで
はの活動プログラムの提供を
検討しています。

具体的には、バードウォッ
チングや薪割体験、里山の散
策など七軒地区の「自然」を、
それらに精通する地元の人
が案内することで、町内外か
ら人を呼び込むというもので
す。

佐々木さんは「鳥や草花な
ど、七軒地区の自然はどれも
質が高く、都市圏の人にとっ
ては羨ましいものです。また、
薪や山菜など、山の恵みを上
手に利用して暮らしている地



人々のくらしの 中にある魅力



(右) 山口さん
(中央) 今野さん
(左) 佐々木さん

さわらび会代表理事 今野^{としこ}壽子さん

「七軒の先人達が残してくれた知恵や文化を将来世代にも伝えていきたい」

副代表理事 山口啓一^{けいいち}さん

「山里交流館を拠点に間伐材を薪として活用するシステムを構築し、山の環境保全とその魅力を伝えていきたい」

事務局長 佐々木^{りゅうま}隆馬さん

「質の高い自然環境、その中で暮らしている人々の生活文化。七軒地区は魅力であふれています」



▲昨年、沢口区若者会が開催した薪割体験

元の人々の生活文化も魅力的です。山里交流館を通じて、七軒地区の皆さんが普段おこなっている生活や周りにおける自然が、いかに魅力的な観光資源であるかを発信し、地域が豊かになるシステムを構築していきたいです」と話します。

5月には全国山菜サミットを開催

自然の大きな魅力の一つとして、七軒地区には「山菜」があります。山菜は山村地域の主要な特産品であり、豊かな食生活を支える重要な食材として全国で注目されています。

山里交流館オープン直後の5月24、25日には、山菜をテーマに大江町で「第10回全国山菜サミット」が開催されます。このサミットは、全国各地域で山菜振興に取り組んでいる関係者が集まり、山菜の安全安心な販売と需要の拡大、地域の食生活の伝統継承について話し合うものです。山里交流館も山菜サミット

の会場になっており、新たな創作料理を取り入れた本町自慢の山菜料理が発表されます。また、江戸時代に七軒地区の主要な特産品であった「青芋」をテーマとした講演会などがおこなわれる予定です。

学びと交流による地域づくりへ

さわらび会が、山里交流館を通して進める地域活性化の一つは、観光交流による雇用の創出や地元資源の消費拡大による活性化です。もう一つは、多くの人々に七軒地区の魅力に触れてもらうことで、町民の皆さんから七軒の魅力を再発見してもらうことによる地域の活性化です。

旧七軒西小学校は、住民の手によって地元との結びつきを強くし、それまでの学校教育の範囲を超え、地域活性化にむけた、「学び」と「交流」の場になるうとしています。山里交流館では、オープンに向けて着々と準備が進められています。

平成26年度
町政功労者
表彰

1月5日、町民新年会に先立ち、平成26年度町政功労者表彰式が町民ふれあい会館でおこなわれました。

町の政治、文化、社会その他各分野にわたって町政振興にご活躍された受賞者の皆さんを紹介します。

町政発展功労



佐藤雄幸 さん

6区

38年の永きにわたり、大江町国民健康保険運営協議会委員として、大江町国民健康保険制度の充実に尽力し、町政の発展に貢献されました。



高橋五郎 さん

檜山

12年の永きにわたり、人権擁護委員として活動し、地域に根ざした積極的な活動により、人権思想の普及高揚に貢献されました。



工藤吉蔵 さん

山崎

10年の永きにわたり、山崎区長として地域の振興に尽力され、その間区長会副会長を歴任するなど、町政の充実発展に貢献されました。



林 満 さん

材木

12年の永きにわたり、材木区長として、地域の振興に寄与するとともに、町政の充実発展に貢献されました。

教育・学芸・体育・文化功労



岡田 悠 さん

蛍水

第45回ジュニアオリンピック陸上競技大会において、山形県選抜として、4×100mリレーの競技に出場し、見事6位入賞を果たしました。



後列左から、井上翔太、東海林良介、清野大輔、高砂 涼（代理）
前列左から、岡田 悠、鈴木 雅、佐藤大介、小北 匠 ※表彰式出席者、敬称略

今年度、本町スポーツの普及と振

興に功労があった方や、競技成績の
優秀な方を表彰する大江町体育協会
表彰が1月25日に体育センターでお
こなわれ、太田富久雄体育協会会長
から9個人1団体に殊勲賞、7個人
に奨励賞が贈られました。

☆殊勲賞：町・県を代表して全国大会に

出場し入賞された方、県大会
で優勝された方

☆奨励賞：県大会で上位入賞された方

【殊勲賞】

高砂 涼（13区）
／国士館大学2年、全日本ジュニアレスリ
ング選手権大会フリースタイル84kg級第3位

佐藤 大介（みなみ）
／谷地高校3年、平成26年度日本カヌー
スプリントジュニア選手権大会C14 200m第4
位 500m第5位

岡田 悠（蛭水）
／山形県選抜（陵南中学校1年）第45回ジュ
ニアオリンピック陸上競技大会女子ABC
共通4×100mリレー第6位、第35回東北中
学校陸上競技大会女子中学1年100m優勝

清野 大輔（市の沢）
／YAMAGATA CLUB、第34回東北
クラブ男子ソフトボール選手権大会優勝

後藤 和磨（小漆川）
／Yamagata Kuber a、第28回東
北クラブバスケットボール選手権大会優勝

今野 勝貴（若原）
／仙台大学4年、第41回東北総合体育大会陸
上競技男子三段跳優勝

公平 貴広（小漆川）
／大江町卓球連盟、平成26年度山形県社会人
卓球選手権大会男子ダブルス優勝

白田 秋絵（藤田）
／日大山形高校3年、第65回山形県高等学
校総合体育大会ハンドボール競技優勝

堀場 涼（みなみ）
／山形東高校1年、第22回JOCジュニアオ
リンピックカップフェンシング大会山形県
大会ジュニア男子エペ優勝

大江クラブ
／第33回山形県クラブ卓球選手権大会男子団
体一部優勝

【奨励賞】

公平万由里（小漆川）
／新潟大学2年、第69回国民体育大会山形県
予選会卓球競技成年女子シングルス第2位

柏倉 飛鳥（小漆川）
／東京学芸大2年、第67回山形県陸上競技選
手権大会110mH第3位、400mH第3位

東海林良介（榎山）
／山形中央高校3年、第65回山形県高等学校
総合体育大会陸上競技男子やり投げ第3位

小北 匠（4区）
／谷地高校3年、第65回山形県高等学校総合
体育大会力又ー競技K14 500m第3位

井上 翔太（小見）
／谷地高校2年、第65回山形県高等学校総合
体育大会力又ー競技K14 500m第3位

伊藤 光希（月ヶ丘）
／左沢高校3年、第65回山形県高等学校総合
体育大会柔道競技女子個人78kg級第3位

鈴木 雅（木の沢）
／左沢高校2年、第55回山形県高等学校新人
柔道大会女子個人70kg級第3位

※敬称略

町職員の給与等の状況をお知らせします

平成26年4月1日現在の町職員の給与等に関する状況について、町民のみなさんに広く理解していただくため、その内容をお知らせします。

1 任免および職員数に関する状況

(1) 部門別職員数の状況 (各年4月1日現在) (人)

部 門	職員数		増減	主な増減理由	
	26年度	25年度			
一般行政部門	議 会	1	1	0	
	総 務	26	27	▲ 1	事務処理体制の見直し
	税 務	7	7	0	
	民 生	17	17	0	
	衛 生	6	6	0	
	農林水産	12	12	0	
	商 工	3	4	▲ 1	事務処理体制の見直し
	土 木	11	11	0	
小 計	83	85	▲ 2		
教 育	21	22	▲ 1	事務処理体制の見直し	
会計企業部門等	水 道	2	2	0	
	下 水道	3	3	0	
	そ の 他	10	11	▲ 1	事務処理体制の見直し
	小 計	15	16	▲ 1	
合 計	119	123	▲ 4		

※職員数には、町長、副町長、教育長は含まれておりません。

(2) 退職者数の状況 (人)

区分	25年度			24年度		
	定年	その他	計	定年	その他	計
人数	3	4	7	1	0	1

※その他には自己都合等による退職を含みます。

(3) 職員採用の状況 (人)

区 分	25年度	24年度
行政職	2	8

※行政職は上級及び再任用です。



2 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況 (平成25年度普通会計決算) (千円)

住民基本台帳人口(H26.3.31)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	平成24年度人件費率
8,946人	5,015,732	291,369	916,411	18.3%	18.1%

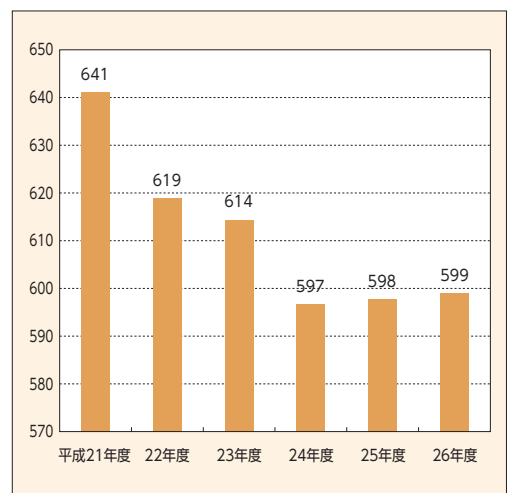
※人件費には常勤・非常勤特別職に支給される給料、報酬を含みます。

(2) 職員給与費の状況 (平成26年度普通会計予算) (千円)

職員数 (A)	給 与 費				1人あたり給与費 (B/A)
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
111人	406,973	48,208	143,402	598,583	5,393

- ※1. 町長、副町長、教育長分を含みます。
- 2. 55歳を超える職員（行政職給料表6級）については、給料月額等を1.5%減額しています。
- 3. 職員手当には退職手当は含まれておりません。
- 4. 給与費は当初予算に計上された額です。

(3) 職員給与費の推移 (普通会計予算ベース) (百万円)



(4) 職員の平均給料月額、平均給与月額および平均年齢の状況 (円)

区分	一般行政職			技能労務職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
町	290,900	322,100	39.3	306,400	324,500	47.8
国	335,000	408,472	43.5	287,992	326,611	50.1

- ※1. 給与は、給料および諸手当を含みます。
- 2. 平均年齢の整数は歳、小数はヶ月です。【例】43.5は43歳5ヶ月の意

(5) 職員の初任給の状況

(円)

区分	町	国	
一般行政職	大学卒	172,200	172,200
	高校卒	140,100	140,100
技能労務職	高校卒	137,200	137,200

(6) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額

(円)

区分	経験年数 10-14年	経験年数 15-19年	経験年数 20-24年	
一般行政職	大学卒	248,800	297,700	354,400
	高校卒	207,100	276,000	315,100
技能労務職	高校卒	-	245,900	269,700

(7) 職員手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

区分	町			国		
	期末手当	勤勉手当	計	期末手当	勤勉手当	計
支給割合	2.7月分	1.25月分	3.95月分	2.6月分	1.35月分	3.95月分
加算措置	役職加算 5~15%			役職加算 5~20% 管理職加算10~25%		

イ 退職手当

区分	自己都合	勧奨・定年	
支給率	勤続20年	21.62月分	27.025月分
	勤続25年	30.82月分	36.57月分
	勤続35年	43.70月分	52.44月分
	最高限度	52.44月分	52.44月分
その他の加算措置	定年前早期退職者に対する特例措置 (2~45%加算)		

ウ 時間外勤務手当(普通会計)(千円)

区分	25年度	24年度
支給実績	18,404	14,270
1人あたり 平均支給年額	170	135

(8) ラスパイレス指数の状況

区分	25年度	24年度	23年度	22年度
町	102.6	102.8	95.0	93.7
県	108.8	108.7	100.0	100.1

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。大江町は、県内35市町村中、29番目となっています。

(9) 特別職の給料(報酬)などの状況

区分	給料など月額	期末手当	退職手当
給料	町長 738,000円 (820,000円)	減額前の給料(報酬)月額に40%を加算し、それに月数を乗じた額 <6月期> 1.375月分 <12月期> 1.625月分	給料月額×勤続月数×56.7/100
	副町長 608,000円 (640,000円)		給料月額×勤続月数×33.1/100
	教育長 557,750円 (575,000円)		給料月額×勤続月数×23.6/100
報酬	議長 320,000円	なし	
	副議長 270,000円		
	議員 255,000円		

- ※1. 給料欄の()内は、減額前の給料です。
- 2. 退職手当支給時期は、退職時(任期満了を含む)に支給。

(10) 行政職の級別職員数の状況

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
6級	課長	9人	8.7%
5級	主幹/補佐	7人	6.7%
4級	主査	20人	19.3%
3級	係長	25人	24.0%
2級	主任	15人	14.4%
1級	主事	28人	26.9%
合計		104人	100.0%

- ※1. 職員数には町長、副町長、教育長及び技能労務職は含まれておりません。
- 2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的なものです。

(2) 職員研修の状況(平成25年度)

主催および研修内容	回数	受講者数
【村山地域市町職員研修】 新規採用、初級、中級	3回	10人
【市町村職員研修協議会】 法制、上級、課長研修など	22回	29人
【市町村アカデミー】 法令、住民行政事務 他	3回	3人

3 職員の勤務条件などの状況

(1) 勤務時間

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
38時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時~午後1時

- ※1. 税務町民課において、月曜日は窓口業務を午後6時30分まで延長しています。
- 2. 平成22年4月1日より休憩時間を廃止し、1日の勤務時間を8時間から7時間45分に短縮しています。

(3) 主な休暇制度

区分	期間	
年次有給休暇	1年につき20日付与(未取得日数分は、20日を上限に翌年へ繰越可能)	
病気休暇	90日以内(疾病の内容により、取得可能期間は異なります)	
特別休暇	結婚	7日以内
	女性職員の出産	産前8週間(多胎妊娠の場合は14週間) 産後8週間(産前分を加え10週間まで取得可能)
	生後1歳に達しない子の育児	1日に2回それぞれ30分以内の時間
	忌引き	配偶者10日、父母7日等、続柄に応じ連続する1日から10日以内



12/21 立派な「しめ縄」で新年を

若宮八幡神社に飾る新しい「しめ縄」の作製が12月21日、藤田区公民館でおこなわれました。

この取り組みは、しめ縄づくりの技術を後世へ伝えていこうと、藤田区で毎年おこなっています。作製するのは神社の鳥居と拝殿に飾る大小2つのしめ縄で、材料には茎が長く成長する酒米「豊国」の稲ワラを使用しています。

束ねたワラをねじる作業は、3人一組になり息を合わせながらねじり、立派なしめ縄を作り上げていました。



1/11 実りある1年を祈念し、小正月行事

1月11日、歴史民俗資料館で小正月行事がおこなわれました。

小正月は毎年1月15日前後の時期をいい、昔はその年の家内安全、五穀豊穰などを祈念して、さまざまな行事がおこなわれていました。

歴史民俗資料館では、ミズキの木の枝に紅白の団子を刺した、団子木が飾られるとともに、雪上に「稲」に見立てた稲わらと豆がらを植える雪中田植えがおこなわれました。

また、田楽豆腐などの小正月料理や中にあんこが入った「わたいもち」が提供され、多くの方が訪れていました。



12/20 クリスマスを彩る愛らしい姿

あゆみこども園のクリスマス発表会が12月20日、ふれあい会館で開催されました。

発表会では0歳から5歳までの園児による、この日のために練習してきた歌やダンス、劇が発表されました。その一つ、「おむすびころりん」では、14人の園児たちがダンスや歌など愛らしい姿を披露し、会場からは大きな拍手がおくられました。

小関早苗園長はあいさつの中で「今年も発表会を開催することができうれしいです。演技を通して子どもたちのがんばりをぜひ感じとってください」と話していました。

**1/11 地区民念願の
公民館が完成**

蛭水区公民館の落成祝賀会が1月11日におこなわれました。

蛭水区では、地区の活動の場や防災の拠点を整備しようと、平成24年から公民館建設委員会を立ち上げ、内容を検討してきました。建築にあたっては、地区民から建設積立金を集めるとともに、宝くじの社会貢献事業であるコミュニティ助成事業、および大江町自治公民館建設補助金を活用しています。

館内には建設委員会で出された意見を踏まえ、39畳の大きな集会室や調理場と打合せスペースが一体となった部屋などが設けられたほか、屋外でのイベントを想定して外側にテラスなども設置されました。

古澤功蛭水区長は「公民館が完成したことで、地区の交流活動がますます活発になるとともに、災害発生時には避難場所としての活用も期待できます。この公民館は、蛭水区以外の方でも利用できますのでぜひご活用ください」と話してくれました。



◀ 1/11におこなわれた落成式



1/25 声をかけ合い力くらべ

第22回町民つなひき大会が1月25日、体育センターを会場におこなわれ、男女混合の部に5チーム、男子の部に10チームの総勢190名が参加しました。会場では「イチニ、イチニ！」のかけ声のもと、白熱した戦いが繰り広げられました。

大会結果

★男子の部

- 優勝／本郷東
- 準優勝／藤田
- 第3位／本郷南
- TC：Pふる

★男女混合の部

- 優勝／藤田
- 準優勝／本郷東B
- 第3位／本郷東A



1/24 一面の銀世界を歩いてみよう

冬の森を散策する「はじめてのスノートレッキング教室」が1月24日がはじまりました。

この教室は大江スポーツクラブO-STEPが大江山岳会と協力し、今年初めて企画しました。1回目の当日は体育センター周辺で、積雪が多い場所でも安全に歩くことができるスノーシューの使用方法などを学びました。スノーシューを用いたトレッキングは気軽にはじめられる上、普段は見ることのできない雪景色を楽しむことができます。教室は全4回、トレッキングを3月に2回開催する予定です。ぜひご参加ください。

「常呂町」。初めて見た時「じょうろ」、「つねる」と読むのかなと考えたが「ところ」と聞いてびっくりした。唯物論、唯名論とはいかないまでも、名前があるから物があるのか、物があるから名前があるのか：浅学非才にとっては悩ましく、地名を取り上げただけでもパンクする。

大江町にも、ロマンあふれる名前がある。「十八才」は一度聞いたら忘れられない地区名だと思う。一度聞いただけなので確かではないが、ある地区には、アミガサ滝、コアライザワ、オボメ岩屋という場所があるという。思うに、傘のような形をして落ちてくる滝、産湯代わりの小川…、山深い場所なので冬は無理だと友人は言うが、雪解けを待って訪ねてみたいと思うと、今からドキドキだ。

国際化の時代、「世界を知れ」とは言うけれど、地元になんと「知らない名前」の多いことか。新しい春に、足元に、温故知新・身の丈…をからませながら、新しい想いを百川衆沢に見いだしたい。想いは、明日の母だから。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.19

左沢は古くから、最上川河畔から最上川を渡る「山形往来」や最上川沿いに置賜へ続く「米沢往来」、楯山の麓を通る「庄内往来」が交差する場所でした。左沢楯山城は、こうした交通・軍事上の要衝を抑えるため、正平年間（1346～1379年）に大江氏一族の左沢元時が築城したといわれています。

以前から城跡内では、外敵の侵入を阻止するために築いたと思われる曲輪が多数発見されていました。平成10年から本格的な発掘調査がおこなわれると、城跡の東部にある「守屋敷」からは、何度も建て替えられた建物跡や池と思われる石組みが、最も高い場所にある「八幡座」からは、物見やぐらの可能性がある建物跡などが発見されました。

調査の結果、県内でも有数の巨大な山城であると同時に、村山地方の中世から近世に至る動向を知る上で重要な城跡であることが判明し、平成21年2月には国指定史跡、平成25年3月には重要文化的景観の重要な構成要素となっています。

左沢楯山城跡



▲藤井尚夫氏によるイメージ図



▲最も高い場所にある史跡「八幡座」

● 短歌 ●

紅シタンたわわ実をつけ吹雪く日の子孫を託すひよ鳥を得つ

佐竹磨砂湖

阿弥陀坂喘ぎて仲間と月参り今年終りの燈明灯す

菊地つねよ

正月にひょう干し食べてひよつとして無病息災良し事願う

堀 トヨエ

遠き日に習ひし大正琴弾けばやさしき恩師の面影浮かぶ

佐竹 麗子

子等が皆集ひし夜は吹雪きても心浮き立ち笑ひも絶えず

山家 重之

大寒の星満面に粧ひし一天の雪月照らしをり

佐竹 與鼓

たまゆらに山から山へあわあわと初冬の空に大き虹立つ

斎藤 徳治

● 俳句 ●

天満宮古札を燃し御慶かな

鴨田富士夫

肩の荷の取れて楽しき老いの春

今井 茂樹

寒厳し飲屋の灯りくつきりと

山家 重之

最上川雪もやみたり初山河

阿部 一風

水色にかたまる空や冬の雲

金子脩一郎

初日射す遠き雪の嶺雲なびく

秋元喜一郎

雪積んで三両列車の旅靴

安藤由美子

やはらかきものに困まれ春着の子

熊谷 勉

二階家に隠されてある冬日かな

舟山 三男

名も知らぬ人より御慶賜はれり

伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



Youthful ★ トーク ★

「最初の1年は先輩の半分しか作れませんでした。最近はずいぶん差を縮めています」と話す堀さん、現在は村山市にある製造会社に勤めています。

心臓の動きを把握するシール状の医療用具の製造を担当しており、多い時には1日に約800枚も作るそうです。「毎日目標数を設定して計画的に作っています。仕事の影響からか、プライベートでも計画的に行動するようになりました」と堀さん。休日の楽しみは好きなアーティストのライブや映画鑑賞など、「とにかく出かけたが性分」とのことです。

就職して3年目の堀さん「作業内容は一緒ですが、手作業の部分があるため製品一つ一つに製造者の個性が出ます。数は多いですが人の身体に使用するものなので『私が作ったもの』と責任を持って作ることを心がけています」と話してくれました。

堀 香奈絵さん (21歳・富沢)

製品一つ一つに心こめて

地域おこし協力隊通信

No. 9



来年度の地域おこし協力隊を募集するため、東京のお台場に行ってきました。「田舎に住みたい」と考えている人の多さにびっくりしつつ、全国の地方自治体とともに大江町も相談コーナーを設けて来場者の方々とお話ししてきました。

旧七軒西小学校が自然体験宿泊施設「大江町山里交流館」として、4月から運営を開始する中で、七軒地区全体の魅力を町外にも発信していけるよう、様々な活動を地域おこし協力隊事業に盛り込んでいけたら良いなと思っています。

山里交流館を起点とした七軒地区の交流人口が増えれば、左沢地区や本郷地区での交流人口の増加も見込めます。協力隊の取り組みを、七軒から左沢まで絡めて相乗効果のあるものにしていければと考えています。

こうした町を元気にしていく取り組みの中で、町民一人一人が何を良しとしてどんな大江町にしていきたいか、そのために“自分のできる範囲のこと”はどんなことなのか、それをイメージするようになったら、一歩でも二歩でも大江町は次の時代・世代へ繋がっていくと思います。

地域おこし協力隊 石坂康平



↑東京お台場での様子

お知らせ

水道料金および下水道・農業集落排水処理施設使用料2月の納期限のお知らせ

◆2月の納期限／2月23日(月)

2月末の収納処理の関係上、右記のとおり変更となります。口座振替日も同日ですので、ご留意ください。

※お問い合わせは、建設水道課庶務係 ☎(62) 2117まで

大江町ふるさと奨学生を募集します

町では、高校生・大学生などの就学を支援するため、無利子で奨学金を貸与しています。希望する方はご応募ください。

◆奨学金貸与額および募集人員／

- ① 高等学校、高等専門学校：年額20万円・10名以内(新入生5名以内)
- ② 大学、短期大学、専修学校：年額50万円・20名以内(新入生10名)

◆奨学生の資格／町内に住所を有する者の子弟などで、学習活動、生活全般の態度、行動が奨学生にふさわしく、将来良識ある社会人としての活動が見込める者で、世帯の所得額

が基準額以下であること

※奨学生審査委員会を経て決定

◆奨学金返還／卒業後6カ月を経過した月の翌月から、月賦または年賦(繰上返済も可)により返還

◆応募締切／4月30日

※お問い合わせは、教育文化課学校教育係 ☎(62) 2270まで

使わなくなった農機具などを譲り頂けませんか？

町では、新規就農者を支援するため、使用しなくなった農機具を譲っていたいただき、貸し出すための機械バンクの創設を考えております。皆さんのご協力をお願いします。

◆募集対象／故障などのない使用可能な農機具(例…田植機、高所作業機、トラクターなど)

※原則、無償でのご協力願います

※お問い合わせは、農林課農政係 ☎(62) 2115まで

海外研修や留学を補助します

町では、海外研修事業補助制度を設けています。語学留学などに行かれる方は、ぜひご活用ください。

◆対象者／町内に住所があり、現在居住している方(ただし勉強のため

エコキャップをポリオワクチンに



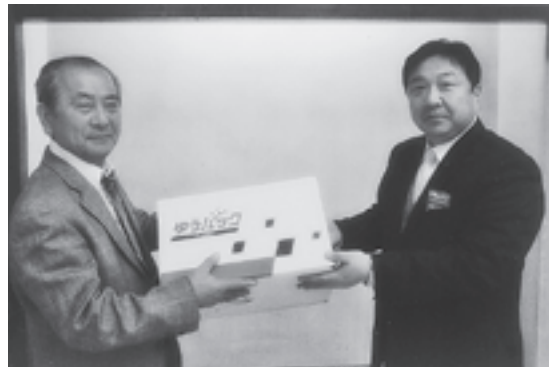
◀12月11日大江中学校



◀12月16日あおぞら会(障がい者入所施設らふらんず大江)

発展途上国の子どもたちにポリオ(小児まひ)ワクチンを贈るため、大江中学校が約11万4千個(約132人分)、あおぞら会が約1万個(約12人分)のペットボトルキャップを山形銀行左沢支店に寄託しました。

使用済みの切手が海外で役立てられます



さまざまな社会奉仕活動をおこなっている大江町ライオンズクラブOB会(代表庄司憲市・写真左)が12月10日、集めた使用済み切手を公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)に寄贈しました。

同会ではこれまで、大江町役場をはじめ町内6カ所に回収箱を設置し、使用済み切手の収集にあたってきました。今回集まった切手は2万2,916枚で郵便局を通して5万円ほどに換金されます。

換金された切手は、JOCSを通じて海外を中心に保健医療が不十分な地域への活動に役立てられる予定です。



様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します。

地域の教育力向上を目的とした優れた取り組みを表彰する文部科学大臣表彰に、毎週土曜日に開催されている少年少女書道教室が選ばれました。

少年少女書道教室は昭和45年の開講以来40年以上続けられている歴史のある教室です。これまで当教室出身児童が書道展で数々の優れた成績を収めており、今年も東邦書道会が主催する書道展で県知事賞をはじめ特別賞に4名、東邦書道会賞に11名、特選に20名が選ばれています。また、書道を通して学校、学年を越えた子ども同士の交流や指導者との世代間の交流など、地域コミュニティの活性化も評価され、今回の受賞につながりました。

指導者代表の清野昭一郎さん(十八才)は「書道愛好会をはじめサポーターや教育委員会の協力により、ここまで続けることができました。これからも書道を通して子どもたちの成長を支えていきたい」と受賞の喜びを語ってくれました。

少年少女書道教室 文部科学大臣表彰受賞



少年少女書道教室の指導者の皆さん

- 町外に居住する学生なども含む)
- ◆補助金額/交通費の2分の1以内の額(限度額は1人20万円・小学生の場合は1人10万円)
- ※お問い合わせは政策推進課政策推進係 ☎(62)2118まで
- 大江町観光物産協会
臨時職員募集
- ◆募集人員/1名
- ◆申込期限/3月2日(月)必着
- ◆申込方法/町観光物産協会事務局へ履歴書を持参または郵送
- ◆選考/書類審査後、面接により選考
- ◆雇用期間/4月1日から1年間
- ※お問い合わせは、大江町観光物産協会事務局(政策推進課内)
☎(62)2139まで
- 第13回
新入学おめでとう西村山大会
- ◆日時/3月7日(出)13時30分
- ◆場所/寒河江市民文化会館
- ◆対象/4月に寒河江西村山1市4町の小学校に入学予定の新1年生
- ◆内容/歌やぬいぐるみショー、抽選会など(お祝い袋をプレゼント)
- ◆入場料/無料(入場券が必要)
- ※お問い合わせは山形新聞寒河江支社 ☎(86)4241まで

平成27年度 均等・両立推進企業表彰の公募について

厚生労働省では、職場における女性の能力発揮を促進するための積極的取組や、仕事と育児や介護との両立支援のための取組を推進している企業を表彰します。

◆応募締切/3月31日(火)
※お問い合わせは、山形労働局雇用均等室 ☎023-624-8228まで



前に担当した観光の仕事にも似ています。「まちづくりの基本はこれなんだな」と改めて考えさせられました。(山家雄志)

文部科学省の調査によると、ここ10年で全国では毎年約500校もの学校が廃校になっており、各地で旧校舎の活用方法が模索されているそうです。そのような中、新たに旧七軒西小学校を活用して、地域の活性化に取り組もうとしている「さわらび会」の皆さんの力になればと、今回特集を組ませていただきました。取材の中で感じたことは、廃校舎を通して、地元の方々がふるさとの魅力をもう一度考え、それを外部に発信しようとしていることです。私の広報や



書道愛好会
清野 昭一郎

リレー随想／ 《第92回》

夜、町を歩く

夫と歩き始めて、かれこれ12年になる。大抵は夕食の後片付けを済ませてから、安全のために帽子、手袋、夜光反射材を身につけて出発する。

家を出ると間もなく役場前の国道に出る。結構車の往来が激しく、なかなか渡れないことが多い。「都会だねえ！」と夫。焼き肉のいい匂いなども漂ってくる。

国道を横切って役場脇を通り、駅の公園を突っ切って洞門へと下っていく。洞門の手前には齋藤茂吉直筆の歌碑「南より音立てて来し疾きあめ大門外の砂を流せり」が建っている。傍らに大きな桜の樹が枝を広げている。夜桜が満開の折などは、そ

の柔らかな色合いと相まってなかなかいい雰囲気になる。

ここには「乳母百合」や「月見草」など、普段あまり見かけることのない花も咲く。夏になると虫たちの賑やかな大合唱。思わず「あれ松虫が鳴いている、ちんちろちんちろちんちろりん♪…」と童心に帰って口ずさむ。

洞門を潜って佐渡橋まで下る。ここは左沢線を眺めるのに格好の場所だ。洞門の上の左沢線。家並みの間からちらちら見える左沢線。そして極め付きはトンネルに向かう左沢線が、銀河鉄道よろしく空に上って行くように見えるところだ。ここを三方皆得の場所と我々は呼んでいる。行き行きて旧最上橋に出る。バルコニー付きの橋から眺める左沢線がまた美しい。夫のいう文明の利器(時計)で通過時刻をチェックし、間に合いそうにない時は猛然と走る。い

い年をした夫婦が列車見たさに走る姿は滑稽そのものだが、最上川に影を落としながら、光の箱が定刻通りカタコトカタコトやってくるのを見ると、愛おしさがこみ上げてくる。「左沢線は東京まで繋がっているんだよね」と話しながら、新しい最上橋に向かって歩く。

新最上橋は不思議な光景が広がる所だ。闇夜のなせる技なのか、川上は黒々とした太古の湖を思わせる静けさで、川下の流れとは百八十度違った印象を与えてくれる。

原町を抜けてふれあい会館に出る。近代的な明かりの中に、斬新な建物がひっそりと息づいている。豆腐屋の脇を通って中央通り商店街に入ると夜の散歩もそろそろおしまい。

こうしてほとんど毎日同じルートを歩いているが、不思議と飽きがない。それは同じように見えているものも、実は全く同じではないからだろう。ちよっとした変化に気づき、ささやかな発見を面白がるのが歩く楽しみになっているのかもしれない。「美しいものを沢山見ることが美しい心を涵養する」ということもあるので、しばらくは歩き続けようと思う。

(七区 山家貴代)

人口と世帯(前月比)

町の人口 8,834人(-2)
男 4,344人(-3)
女 4,490人(+1)
世帯数 2,923戸(-3)

平成27年2月1日現在

戸籍の まど

12月16日～1月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
木の沢	松田 聖來	女	伸一・沙織
月が丘	柏倉 龍仁	男	学・真紀子
山崎	鈴木 知花	女	佳太・祐衣

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(美郷)	阿部 裕也
(滝の沢)	渡辺 雪
(藤田)	加藤 孝幸
(朝日町)	白田 基子

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
伏熊	佐竹勝三郎	(93)

1区	菊地 政勝	(77)
藤田	戸田 好文	(88)
3区	清野 傳藏	(77)
中沢口	庄司 正志	(89)
小漆川	森村志磨子	(86)
山崎	松田ともゑ	(85)
藤田	庄司 正	(90)
顔好	鈴木 俊雄	(66)
藤田	秋本 邦夫	(80)
美郷	阿部みき子	(80)
9区	渡邊 名義	(89)
3区	大谷 幸夫	(85)
1区	菊地 繁治	(81)
12区	佐藤 せゑ	(78)
藤田	後藤 美行	(75)